

令和6年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）
第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価については、地方自治法第233条第5項に規定する主要な施策の
成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を
行うことをもって、法第26条第1項の義務を充足しています。

令和7年11月

浪江町教育委員会

令和 6 年度

主要な施策の成果

福島県 浪江町

10. 教 育 費

◆なみえ創成小・中学校制服等支給事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書 212 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,285,078			2,285,078

子育て世帯の町内生活の負担を緩和し、帰還・移住促進を図るため、なみえ創成小・中学校に通学する児童生徒を対象に保護者へ制服等の支給を行った。

○支給実績

- ・小学校 52 名 971,882 円 (体操着等 52 名)
- ・中学校 30 名 1,313,196 円 (制服 9 名、体操着等 30 名)

◆県立高等学校通学費助成事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書 212 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
423,239			423,239

保護者の通学に要する経費負担の軽減と町内への帰還・居住促進を図る観点から、町内から県内の県立高等学校に通学する生徒の保護者に通学費を助成した。

○助成実績

- ・高等学校 9 名 423,239 円

◆A L T 派遣事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 5 (決算書 214 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,610,000			5,610,000

外国語指導助手 (A L T) との学習機会を設け、児童生徒の語学力向上と国際感覚醸成を図るため、民間より派遣された A L T の配置を行い、児童生徒が身近で「生」の英語に触れられるよう教育環境の向上を図った。

○A L T 派遣 1 名 5,610,000 円

※派遣期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

◆学習支援事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 7 (決算書 214 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
9,114,563	4,072,296		5,042,267

放課後の子どもたちの安全な居場所の確保と、保護者の就労支援、地域で子どもを育む環境を充実させ、子どもが自ら学ぶ力を身につけることを目的に放課後子どもクラブの運営を行った。

○利用人数：53 人

◆スクールバスの運行（震災関連事業）

(教育総務課)

科目 10 - 2 - 1 (決算書 216 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
16,641,558	16,641,558		0

なみえ創成小・中学校に在学する児童・生徒の通学対策として、自宅から学校までのスクールバス運行を行った。

○運行回数 延べ 1,025 回
(町有スクールバス運行【4 台】820 回、業務委託運行【1 台】205 回)

◆グローバル人材育成事業

(教育総務課)

科目 10 - 2 - 2 (決算書 218 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,217,970			2,217,970

なみえ創成中学校に在籍する中学 1 年生から 3 年生までを対象に、生徒が異文化体験を通じて英語や異文化に触れることの楽しさを感じると共に、無限の可能性に満ちた自らの将来について考えるきっかけを作り、浪江町民としての誇りを持った将来リーダーとなり得るグローバルな人材の育成を目的に実施した。

○研修日程、参加者

- ・令和 6 年 8 月 7 日 (水) ～8 月 9 日 (金) 2 泊 3 日
- ・中学 1～3 年生：男子 9 名＋女子 4 名＝合計 13 名参加
- ・引率 3 名 (浪江町教育委員会)

○TOKYO GLOBAL GATEWAY の概要と研修内容

・TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) とは東京都教育委員会が開設した様々な英語プログラムを提供する最新体験型英語学習施設。日常から離れ、海外をイメージして作られた街並みで普段とは違う環境のなか、グローバルな世界を存分に体験することができる魅力の研修施設。

●1 日目 (半日コース)

①多文化理解の体験 ②日本にしながら留学体験

●2 日目 (1 日コース)

③おもてなし文化を世界に紹介しよう ④ホテルゾーンでの体験

⑤ショートムービーの作成体験 ⑥トラベルゾーンでの体験

◆なみえ創成小・中学校魅力化事業

(教育総務課)

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2 (決算書 218 頁、220 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,196,646	1,580,046		616,600

なみえ創成小・中学校の魅力ある学校とするため、学校と地域の方々が共働り、浪江の伝統文化の学習を取り組み、ふるさと教育や伝統文化の継承、多世代交流を図った。

また、勉強だけではなく、子どもたちの自主性、協調性、考える力、コミュニケーション力などを育むため、外部の講師を招聘し、哲学対話などの授業を行った。哲学対話では、哲学的な思考を通じて対話を行い、お互いの違いを認め、共通の課題に対して考えを深め人間力の醸成を図った。

○実施事業

・哲学対話・なみえ焼そば作り・大堀相馬焼体験・紅葉汁作り・かぼちゃ饅頭作りなど

◆就学援助事業 (震災関連事業)

(教育総務課)

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2 (決算書 218 頁、222 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
9,772,389	9,697,922		74,467

東日本大震災に起因して経済的に就学困難となった児童生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行った。なお、避難先自治体にて就学援助事業を行っている場合は、当該事業を優先させた。

○援助の状況

(単位：人)

援助人数	小学校	中学校	計
	70	37	107
うち福島県内	69	37	106
うち福島県外	1		1

◆ふれあい交流センター運営事業

(生涯学習課)

科目 10 - 4 - 1、10 - 4 - 3
(決算書222頁、226頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
34,230,714		4,080,677	34,230,714

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和6年度 利用状況一覧

会議室等	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	176日	359日
利用者数	3,279人	3,861人	7,140人

図書館	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	130日	129日	259日
利用者数	2,321人	2,325人	4,646人
貸出冊数	7,070冊	7,288冊	14,358冊

- ・図書資料 35,314冊
- ・視聴覚資料 (DVD) 641点
- ・視聴覚資料 (CD) 1,194点

◆二十歳を祝う会の開催

(生涯学習課)

科目 10 - 4 - 1 (決算書224頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
299,000			299,000

令和7年1月11日(土)に、浪江町地域スポーツセンターにおいて、二十歳を祝う会を開催し、新たな門出を祝った。

○対象者数 173名 うち出席者数 男性 7名

(東日本大震災当時、年長児) 女性 5名
合計 12名

◆埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 4 - 2（決算書224頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
448,327,000	133,963,000	267,289,000	47,075,000

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、埋蔵文化財の本発掘調査及び調査報告書作成を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な調査実績

- ・本発掘調査 末森字仁田久保地内(仁田久保 A・B・C 遺跡) 267,289,000 円
- ・試掘調査 末森字仁田久保地内(仁田久保 B 遺跡) 2,420,000 円
- ・試掘調査 権現堂字北深町地内(権現堂条里制跡) 9,757,000 円
- ・調査報告書作成 棚塩字弥平迫地内(弥平迫遺跡・第3次)168,861,000 円

◆文化財保護事業

（生涯学習課）

科目 10 - 4 - 2（決算書226頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,135,000	2,351,250		783,750

緑の文化財である「大聖寺のアカガシ樹群」のカシノナガキクイムシからの被害を防ぐために防除事業を行った。

◆文化財収蔵庫燻蒸事業（新規）

（生涯学習課）

科目 10 - 4 - 2（決算書226頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,256,000			3,256,000

文化財収蔵庫へ運搬・収蔵した遺物等の害虫、カビ等による被害を防ぐため燻蒸処理を実施した。

◆郷土芸能復興支援事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 4 - 2（決算書 226 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
1,446,000			1,446,000

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

○本事業における補助採択芸能の団体 5 団体

- ・樋渡・牛渡芸能保存会（神楽）
- ・南津島郷土芸術保存会（田植踊）
- ・樋渡・牛渡田植踊り保存会（田植踊）
- ・請戸芸能保存会（田植踊）
- ・請戸神楽保存会（神楽）

◆震災遺構運営事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 4 - 4（決算書 226 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
17,526,529		11,853,621	5,672,908

地震と津波及び原子力災害の教訓を後世に伝えるために整備した震災遺構浪江町立請戸小学校を 10 月から指定管理者に委託し、適正な維持管理運営に努めた。

来館者数

（人）

	一般	高校生	小中学生	その他	合計
令和 6 年度	59,408	5,598	6,201	734	71,941
累 計	170,151	16,290	20,553	3,593	210,587

◆生涯学習推進事業

(生涯学習課)

科目 10 - 4 - 5 (決算書228頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,728,676	1,731,846		3,996,830

町内では地域コーディネーターを配置し、子どもたちが学校以外の場所で自然とふれあう活動を行いながら、友達と仲良く、また心身ともに健全に成長を支援するため各教室を行った。

また、全町民を対象とした生涯学習事業として各講座を開催し、町民同士の交流や学びにつなげた。

○子ども週末チャレンジ 6 事業 参加者 延べ 87 名

- ・ ナイトライブラリー
- ・ 畑体験
- ・ 海体験
- ・ 雪山体験
- ・ 芋掘り体験
- ・ けん玉体験

○親子ふれあいチャレンジ 3 事業 参加者 延べ 21 名 (8 家族)

- ・ 遺跡なみえ歴史教室
- ・ 土器を作ってみよう
- ・ 作った土器を野焼きしよう

○地域ふれあいチャレンジ 5 事業 参加者 延べ 178 名

- ・ 味噌づくり体験
- ・ 大人のナイトライブラリー
- ・ クリスマス音楽祭
- ・ 滝川渓谷ハイキング
- ・ 日光ハイキング

○なみえカルチャースクール 15 事業 延べ 521 名

- ・ 英会話教室
- ・ なみえを学ぼう
- ・ ヨガ教室
- ・ ストレッチ教室
- ・ 藍染体験
- ・ 乗馬体験
- ・ ペン習字
- ・ アライメント教室
- ・ ニュースポーツ体験 (モルック)
- ・ 折り紙ワークショップ
- ・ アロマ体験
- ・ つまみ細工教室
- ・ 基礎から学ぶダンス
- ・ 一閑張り教室
- ・ ボイストレーニング

○地域ふれあいチャレンジ&子ども週末チャレンジコラボ 1 事業 30 名

- ・ もちつき&芋煮会

○出前講座 3 事業 延べ 62 名

- ・ ハワイアンキルト教室
- ・ 絵手紙教室
- ・ 習字サロン

◆社会体育施設運営事業

(生涯学習課)

科目 10 - 5 - 2 (決算書 232 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
59,194,540		2,687,043	56,507,497

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和 6 年度 利用状況一覧

秋桜アリーナ	上半期 (4 月～9 月)	下半期 (10 月～3 月)	合計
稼働日数	183 日	176 日	359 日
会議室	165 件	165 件	330 件
サブアリーナ	83 件	81 件	164 件
メインアリーナ	169 件	175 件	344 件
トレーニングルーム	3,927 人	4,268 人	8,195 人

ふれあいグラウンド	上半期 (4 月～9 月)	下半期 (10 月～3 月)	合計
稼働日数	183 日	176 日	359 日
グラウンド	74 件	61 件	135 件

高瀬野球場	上半期 (8 月～9 月)	下半期 (10 月～3 月)	合計
稼働日数	52 日	176 日	228 日
グラウンド	4 件	20 件	24 件

※令和 6 年 8 月 10 日再開

◆復興海浜緑地（多目的広場）整備事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書232頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
199,811,000	159,808,000		40,003,000

賑わいあふれる交流の場としてパークゴルフ場を整備するため、前年度に引き続き、造成工事を実施し、建築工事、電気設備工事及び機械工事に着手した。

◆保健体育事業

(生涯学習課)

科目 10 - 5 - 4 (決算書 234 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
7,372,022			7,372,022

野球、ソフトボール、駅伝といった県内の各種市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	7月6日	大熊町 富岡町 檜葉町	8 町村	野球 3 位 バスケットボール 出場 ソフトテニス 準優勝 バレーボール 出場 グラウンドゴルフ 4 位 剣道 準優勝
県民スポーツ相双大会	9月8日	新地町 相馬市	9 市町村	壮年ソフトボール A ブロック 3 位 ソフトテニス (2 チーム出場) 準優勝、3 位 9 人制バレーボール 4 位
市町村対抗福島県軟式野球大会	9月22日 9月28日	小野あぶくま球場他	58 市町村	(1 回戦) 対鏡石町 ○ (8-0) (2 回戦) 対檜葉町 ● (4-5)
市町村対抗福島県ソフトボール大会	10月5日	相馬光陽ソフトボール場	53 市町村	(1 回戦) 対須賀川市 ● (0-7)
ふくしま駅伝	11月17日	しらかわカタルスポーツパーク (白河市) から福島県庁前 (福島市) まで	52 チーム	総合 29 位 (町の部 12 位)